

☎テレビホン法話(0577)(34)2313 ☎11月21日〜30日:小原宗成氏「圓龍寺」 ☎12月1日〜10日:池田英作氏「了泉寺門徒」 ☎12月11日〜20日:堤唯見氏「淨願寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)3210763

ご坊の報恩講さま

～恋しくば 南無阿弥陀仏と となうべし～

去る十一月一日〜三日と、御坊・高山別院の報恩講が勤まりました。晴天に恵まれたたくさんの方々のご参詣を得て、本年も例年のごとくお勤めできたことは誠に有難いことでありました。毎年のごことでありますが、飛騨一円のご門徒のご懇志によって運営されておりますこと、厚く御礼申し上げます。多くの方々のご奉仕によって、本堂内外の段取りも順調に運びました。

報恩講とは「宗祖親鸞聖人」の御葬儀です。十一月二十八日に往生されました。ご本山では十一月二十一日より七昼夜をかけて親鸞聖人のご生涯を通し、何をお伝えくださったかをいただき直すのです。これを「御正忌報恩講」と申します。飛騨



No.340
2017年11月20日

発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社



私のことを恋しく、また偲んでくださるのなら、南無阿弥陀仏と、となえてください。私はお念仏の中にいるのですから。いや、お念仏の中にしかないのですから。あなたも私も、お念仏の中でお会いしましょう。

別れの歌が、南無阿弥陀仏によって、もう決して離れることのない世界を歌っておられます。南無阿弥陀仏の一声は自分にご縁のあるすべての方々の「へのち」との出会いを意味します。おおいなる「へのち」に参加する自分を、報恩講にて再確認するご縁を本年も皆さまと共にいただきました。厚く御礼申し上げます。

高山別院輪番 三島 多聞 合掌

御坊では先がけて、お取り越しとして報恩講を勤めました。私達は大切な方の葬儀には、亡き人の一生を偲び、何を自分に伝えられているかをお念仏を申して振り返ります。これは親鸞聖人のご生涯を通して、その教えをふり返ってきた真宗門徒のお念仏の伝統に由来します。

親鸞聖人が京都にお帰りになるにあたり、箱根のご門徒が宗祖のご滞在を懇願しました。その際、宗祖は歌一首を詠まれました。

恋しくば 南無阿弥陀仏と となうべし
我も六字のうちにこそすめ

10月27日、午前9時。気温は約7度と肌寒さを感じ、中、吉城組のご門徒さん方と住職約30名によって、高山別院御殿の庭の手入れと清掃が行われました。

この御殿はかつて国府町にあった杉下家邸宅を移築したものであることも縁となっており、今回で9回目となります。

落ち葉を集めたり、夏の間に伸びた草などを取ったり、また、庭木の形を整えるために剪定をしたりと、手際良く庭を整えられていきました。



報恩講法話
テーマ「大悲に生きる — 悲しみが悲しみをつつむとき —」

報恩講のご講師は、名古屋教区の荒山淳先生でした。別院真宗公開講座を含め計7座、時に笑いを交えながらも、一人ひとりに話しかけるように丁寧にお話をしてくださいました。「私たちは身近な人とさえ通じ合うことのない悲しい生き方をしている。お念仏申すことによって、そんな私たちの悲しみが如来の悲しみによって包まれるのです」と語られました。

報恩講という大切な聞法の場、日ごろの私の在り方を見つめる貴重な時間となりました。



ご本尊動座式

本年の御坊報恩講が盛大裏に勤まり、阿弥陀さまの居られた御堂とはしばしのお別れです。11月8日、飛騨御坊御遠忌に向け内陣御修復工事が始まるため、御堂に安置されていたご本尊の阿弥陀如来像が仮御堂(庫裡ホール)へとお遷りになられたのです。輿にのられたご本尊は多くの参詣者に見守られ、お念仏の音が響く中を通して仮御堂に安置されました。来年の報恩講をお迎える頃には御修復工事が完了する予定となっております。それまでは仮御堂において全ての仏事が勤まりますので、どうかよろしくお願いたします。



「報恩講のつどい 講談 中村久子」

11月1日(水)、午後7時より、「御坊報恩講のつどい」を開催しました。中村久子さんの没後50年を機縁として、一龍齋春水さんの講談と、三島多聞輪番の法話で久子さんのご生涯をたずねました。幼くして両手両足の切断を余儀なくされた久子さんが抱き続けた生涯を貫く課題は、「人間として生きる」ということ。久子さんが遠い昔の偉人ではなく、私たち人間が持つ根本的な課題とともに生きられた人なのだ、ということ、講談と法話を通じて確かめる時間となりました。

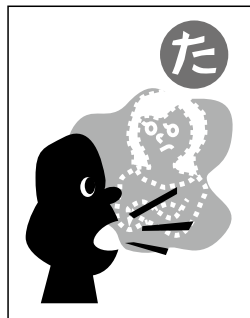


女性と男性

女と男の

ナムアマミダブツ

藤場 芳子



「た」誰もおらんのかー! あんたに私かなぞ見えん!

「男」になる

ウーピー・ゴールドバーグ主演の「チャンス」と言う映画があります。舞台はニューヨークの金融業界。ある日同僚だった男性が自分より先に上のポストに就いてしま...

か。1985年に「男女雇用機会均等法」が制定されたので、募集・採用・昇給・昇進・教育訓練・定年・退職・解雇などの面で男女とも平等になったと言いたいところですが、現実にはそんなに甘くありません。2016年の統計によると、新規定学卒者を正社員として採用した企業のうち、女性を採らない「男性のみ」としたのは約4割でした。女性...

「潜在的適合テスト」というのがあります。社会心理学で開発されたもので、簡単ですが結果の信頼性が高いことから教育や経営など様々な分野で応用されています。

ある研修会でその簡易版を受けた人の話が新聞に載っていました。絵2枚1組を1枚ずつ見て、いいと感じた方を選ぶというテストです。絵を掲げた人が登場して、すぐに退場し、もう1枚の絵を掲げた人が同じように現れて、又すぐに下がる。どちらの絵を選んだかを用紙に記入していく。それが何度も繰り返されます。結果発表の時間になり、2枚の絵が初めて同時に並びました。その瞬間、どよめき...

消された存在

今回の句は「誰もおらんのかー! あんたに私かなぞ見えん!」です。会社に訪ねて来たお客さんが「あなたでは話がわからない、役不足だ」と言っています。言われた女性には点々で描かれていて、存在していないかのようです。腕組みをして...

2枚の絵

人間が無意識にとる態度を測定する「人は皆平等だ」と口では言うけれど、内心は様々な理由をつけて差別し排除しているのが私たちの本当の姿ではないでしょうか。そんな私たちに民族や性別など関係なくどんな人も「選ばず、嫌わず、見捨てない」世界(浄土)をひらくのが阿弥陀さまの願いです。その願いを通して、私たち自身の姿を見つめ直し、差別とは何なのかを考えていきたいと思います。

高山別院に専任輪番誕生

高山別院輪番として、新たに三島多聞(真蓮寺住職)が就任いたしました。また、前輪番出雲路善公は引き続き高山教務所長としてその任にあたります。

子ども作品展

10月19日から11月3日まで、小・中学生の書道作品297点が別院本堂内に展示されました。また11月3日には報恩講に参拝された方々が見守る中、表彰式が行われました。入選者は次のとおりです。書道塾・教室、個人から出展いただいた皆さま、ありがとうございました。

御坊報恩講

大如悲心

六年新名 颯汰朗



【教務所長賞】

【輪番賞】

【金賞】

今井純鈴・辻彩恵子・河合萌香・長尾佳奈・宮川七海・東田羽奏・宮崎天真・宮川鈴加・池田萌花

【銀賞】

河合凜太郎・山崎麻央・牛丸結愛・中丸結衣・二村紗史・長瀬綾花・美濃輪凜菜・田中みのり・宮崎明音

【銅賞】

長瀬保奈実・丹郷りこ・松田瑛斗・村田莉那・橋本佳幸・江間瑞希・吉村陽菜・重山桜佳・藤井美月

【佳作賞】

大村一貴・板谷莉奈・島田遥真・さこゆづき・野中千陽・田所直樹・村田悠真・中垣星南・川原萌々夏・畑中朝陽・奥村怜禾・今井愛奈・松永星空・中島優・野中美空・道下瑛仁・今井心遥・田中心翔・岡田涼佑・村田苺夏・野原久遠・四反田結菜・大村美紗姫・熊崎晟真・藤本佑梨・小林愛歩・日下部紫希・竹内友哉・志賀仁美・坪内彩香・田島百笑・小林夕夏・熊崎愛・白野真衣・水口怜奈・松井和輝・岡田京悟・青豆あさひ・早川夏生・佐藤心晴・竹内太一・徳川真由紀・田中友麻・大江慶真・村上夢

「回壇案内」

【12月】

4日(月)蓮乗寺「若達町」

第36回

別院真宗公開講座

日時 12月8日(金) 午後2時~4時

講師 木名瀬 勝氏 (東京教区慈願寺衆徒・元同朋会館輔導主任)

講題 日本教からの解放

聴講料 600円

高山別院 報恩講奉仕御礼

報恩講にはたくさんの方にご協力いただきました。あらためて厚く御礼申し上げます。

大谷婦人会高山支部

高山教区坊守会

別院華方

石浦華東会

八日町雅楽宮尚会

玄興寺雅楽会

仏教讃歌をうたう会

青少年教化小委員会

高山教区真宗同朋の会

高山一組真宗の会

高山一組同朋会代表者会

高山一組門徒会

高山二組門徒会

吉城組門徒会

益田組有志

玉翠会飛騨支部

二木社中

おあさじの会

飛騨御坊ボランティア委員会

飛騨仏教青年会

(順不同)